



# ティーンズの本棚

2026年5月 第194号  
(月1回発行)  
半田市立図書館  
tel 0569-23-7171  
亀崎図書館  
tel 0569-29-5060

## 今月のテーマ 「植物」

### 木を植えた人

ジャン・ジオノ／著 <sup>はら</sup>原みち子／訳 こぐま社 (J953/シ)



第一次世界大戦前、フランスのプロヴァンス地方の荒れた丘陵地で、旅人はひとりの羊飼いと出会います。羊飼いは、仕事の合間に黙々とドングリの木の苗を植えていました。二つの世界大戦を乗り越え、旅人が再び訪れた時、荒地は森へと姿を変えていたのです。

同じストーリーでイラストの豊富な本、訳が異なる本もあり、読み比べて楽しむこともできます。

## 新しく入った本

### 世界の終わりが来るまえに

アンナ・ウォルツ／作 <sup>のざかえつこ</sup>野坂悦子／訳 フレーベル館 (J949/ウ)



自作の動画番組が炎上したエレナは、田舎の叔母の家で夏休みを過ごすことになりました。叔母の家にも問題が山積みで、従兄弟のアトラスとは初日から反発し合います。やがて彼も何かに苦しんでいることに気づき、その秘密に近づこうとしますが…。傷ついた若者ふたりが、お互いに手を差し伸べるまでの物語です。

### 和食のミライ 食文化と地域を守る

さとうよういちろう 佐藤洋一郎／著 岩波書店 (T383/サ)



2013年「和食」は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、注目度もあがりました。今も馴染みのある、雑煮や柏餅といった行事食、発酵という技で作られる味噌や漬物、代表的な食材の米・魚・大豆をとりあげ、改めて「和食」について考えます。

和食が抱える課題にも触れ、ミライのために私たちができることは何かを問いかけます。

## 「本の森 (YA図書館を読む会)」 のオススメ本

### 僕には鳥の言葉がわかる

すずきとしか 鈴木俊貴／著 小学館 (488/ス)



言葉をもっているのは、人間だけじゃない!! シジウカラを観察し、鳥たちが、<sup>にこぶん</sup>二語文を作ってコミュニケーションすることを発見した著者。18年間、大好きな鳥を追いかけ続け、大発見へとつながる過程が、楽しいエピソードも交えて書かれています。世界が今までとは違って見えてきます。

YA = <sup>ヤングアダルト</sup>Young Adultの略。10代の若い人をさす言葉です。「本の森 (YA 図書館を読む会)」では、半田市立図書館で2か月に1回、読書会を行っています。

## 9類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。9類には、小説や詩歌、エッセイ、日記、作家研究など、文学に関する本があります。

### ジャンル特化型ホラーの扉 八つの恐怖の物語

やみ 闇／編著 <sup>さわむらいち</sup>澤村伊智 [ほか]／著 河出書房新社 (T913/シ)



「ホラー」は好きですか? ホラーといっても、心霊ホラー、サイコホラー…など多種多様です。数多くのお化け屋敷やホラーイベントをプロデュースした著者が、それぞれの恐怖の根源や楽しみ方を解説しています。ジャンルごとに短編小説を収録し、興味はあるけど何を読んでいいのかわからない人、ホラー初心者におすすめの一冊です。

### よりぬきマザーグース

たにかわしゅんたろう 谷川俊太郎／訳 <sup>わしづなつえ</sup>鷲津名都江／編 岩波書店 (J931/エ)



「マザーグース」とは、イギリスの伝承童謡の呼び名です。その数は700とも1000とも言われています。英語圏の国では、何百年も前から、現代まで伝えられてきました。この本は、マザーグースを「まじめなうた」「ざんこくなうた」「あそびのうた」などに分け、それぞれの背景とともに、選りすぐりの50篇を紹介しています。



半田市立図書館キャラクター  
ブックんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。 →

